学校教育目標『 人間性を磨き　たくましく生きる生徒の育成 』

岩城中学校 校報
自主 創造
# 意和氣
シンキング チームワーク アクション
第33号　2026.11.20(金)

## 放課後学習室を開設

後期中間テストに向けて、９日（月）と10日（火）に放課後学習室を開きました。これは、「テスト前に落ち着いて勉強できる場所がほしい」という子どもたちの要望がきっかけで昨年度から行っている取組で、今年度は前期中間テスト前に続き、２回目となります。テスト前の部休期間に入っていることもあり、子どもたちはテスト勉強に熱が入っているようでした。この日（10日）は全校で20名ほどの生徒が参加しました。各自が自学するという取組ですが、静かに黙々と問題を解くことができていました。また、わからない問題を先生に聞きに行くなど、この機会を積極的に活用する生徒の姿が見られました。１時間程度の時間でしたが、それぞれが目的をもってテスト勉強に取り組めていて素晴らしいと感じました。



## 和歌山県九度山町教育委員会が訪問

10日(火)の２・３校時、和歌山県九度山町から５名の方々が来校しました。また、由利本荘市教育委員会からも３名が来校し、計８名が学校を訪問しました。２校時の授業を参観し、３校時には参観した授業や学校の様々な取組について協議を行いました。

１年生の社会の授業では、アフリカについて学習しました。子どもたちが事前に予習をして疑問に思ったことや「もっと調べてみたい」と感じたことから課題を設定し、クラス全体で解決を目指す探究的な学習に取り組みました。積極的に自分の考えを発表する姿からは、学習への意欲と１年生の大きな成長を感じ取ることができました。



２年生の理科の授業では、水蒸気量と湿度の関係性について学習しました。グループで協力しながら実験を進め、気温の変化によって空気中の水蒸気量がどのように変わるのかを検証しました。グループで意見を出し合い、根拠をもって確かめ合う姿が印象的でした。





３年生の数学の授業では、相似な図形について学習しました。身近なピザの大きさと値段の関係を教材として扱い、相似比と面積比の考え方を当てはめて考えました。「どちらのピザがお得か？」という問いに子どもたちは興味津々で、多角的な視点から意見を出し合い、学びを深めることができました。

Ｃ組の国語の授業では、ひらがなが平安時代に漢字から誕生したこと（ひらがなの成り立ち）について学習しました。Ｄ組の保健体育の授業では、自作の用具を使ったボッチャに取り組みました。

授業を参観した方々からは、子どもたちが真剣にそして和やかな雰囲気で他と関わり合いながら学習に取り組んでいる様子について多くのお褒めの言葉をいただきました。

## お知らせ

学校報第31号でお知らせしましたように養護教諭の＊＊＊＊先生が11月13日に着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

養護教諭の＊＊先生の代わりとしてお世話になります＊＊＊＊と申します。岩城中学校の生徒の皆さんが安心・安全に学校生活を過ごせるように心がけますので、どうぞよろしくお願いいたします。

＊＊＊＊